

家畜衛生だより

中央家畜保健衛生所
村山地域家畜畜産物衛生指導協会
〒990-2161 山形市漆山 736 番地
Tel 023-686-4410 / Fax 023-686-5715

令和6年11月発行

九州でランピースキン病が 国内初発生！！

11月6日に福岡県の酪農場において、国内初となるランピースキン病が確認されました。現時点で、福岡県の3農場（乳用2農場、乳用・肉用1農場）、熊本県の1農場（乳用）で発生が確認されています。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



疑わしい場合は
直ちに連絡！



写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病とは？

ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病です。ウイルスは、環境中に長期間生存しますが、エタノールや逆性石鹼などの薬剤が効きます。また、蚊、ハエ、ダニなどの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。

毎日の健康観察を行い、本病を疑う臨床症状を観察した場合には、速やかに係りつけの獣医師、又は家畜保健衛生所へ連絡してください。

飼養家畜に異状が見られた場合は、中央家保まで連絡を！
中央家畜保健衛生所 023-686-4410（休日・夜間共通）